

別紙

チチヤス株式会社広島工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
チチヤス株式会社 本社工場
- (2) 事業所の所在地
広島県廿日市市大野338-1
- (3) 業種
0913 処理牛乳・乳飲料製造業
- (4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

伊藤園グループは、経営理念「お客様第一主義」に基づき、自然由来の製品を主として事業活動を営む企業として、人類共有の地球環境を守り、次世代に継承することが最重要課題の一つであると考えています。原材料から廃棄までの事業活動全体のバリューチェーンにおいて、人と自然との共生、自然資本の保全と適正な利用に取り組み、自然と調和した食文化を創造し、伊藤園グループを成長させるとともに持続可能な環境・社会の実現（共有価値の創造：CSV）に貢献します。

2. 方針

- ・環境負荷低減
- ・法規制や協定の遵守・環境マネジメント
- ・資源有効利用
- ・低炭素社会への貢献
- ・自然資源保全・生物多様性保全
- ・グリーン購入（調達）
- ・環境コミュニケーション

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成25（2013）年度	直近年度 令和3（2021）年度
二酸化炭素	13,950	9,593

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成25（2013）年度	直近年度 令和3（2021）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成25（2013）年度	直近年度 令和3（2021）年度
メタン	0.315	0.210
一酸化二窒素	4.086	2.414
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF ₆) (NF ₃)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25(2013)年度)		削減目標		目標年度 (令和12(2030)年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	13,950	37.7	5,264	8,686		
非エネルギー起源CO ₂						
メタン	0.315	39.1	0.123	0.192		
一酸化二窒素	4.086	45.7	1.868	2.218		
その他 温室効果ガス						
温室効果ガス 実排出量総計	13,954	37.7	5,266	8,689		
温室効果ガス みなし排出量						
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年2.75%の削減率 メタンは排出量年2.88%、一酸化二窒素は排出量年3.53%の削減率 電気は中国電力(株)の実排出係数を使用					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂），原単位量（kg等），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25(2013)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和()年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							

目標設定の考え方	
----------	--

※ 削減率(d) = $\{(c) - (g)\} / (c) \times 100$ 原単位(c) = (a)/(b) 原単位見込(g) = (e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	重油の使用量を年1%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・自家発電装置の停止 ・高効率ボイラーへ更新 ・生産ラインの合理化
2	電気使用量の削減	電気の使用量を年1%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型電気機器への更新 ・高効率照明への更新 ・高性能インバーター機器への更新 ・冷却設備の断熱強化 ・生産ラインの合理化
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	メタン及び一酸化二窒素排出量を年1%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・容器リサイクル法の推進による食品残渣の軽減 ・廃棄物のリサイクル ・生産工程の歩留まり向上
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

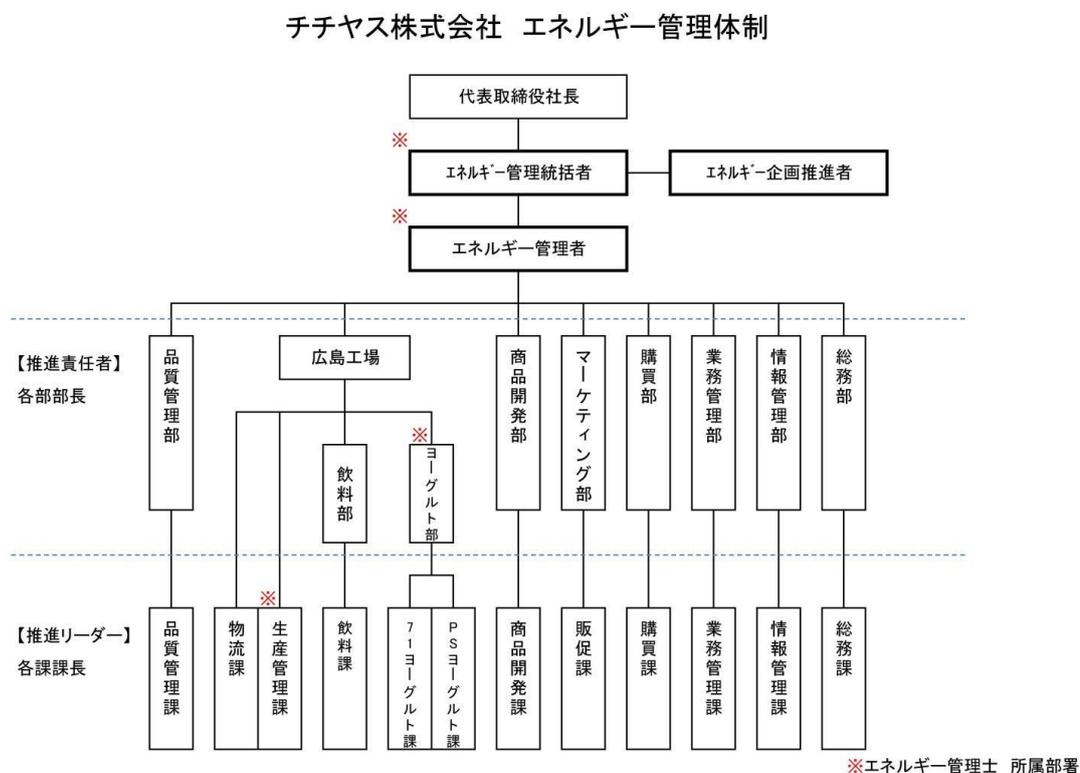
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	再生紙の導入	使用量の60%を再生紙使用	名刺用紙を牛乳パック再生紙使用 コピー用紙を再生紙使用
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理士を中心として、毎年温室効果ガス削減計画書の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い必要に応じて会議を開き、評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

当社の本社事務所受付において要項が記載されているパンフレットを置き、自由に閲覧できるようにする。

チチヤス株式会社 本社工場 位置図

